



今月のレポートは、

「第4回胸部内視鏡手術講習会」・「コーディネーター会議」を報告します。



今月のレポート



第4回胸部内視鏡手術講習会

2月14日～15日の2日間、茨城県小美玉市にあるS-TEC（昭和大学・山王台病院医療技術内視鏡手術トレーニングセンター）において、第4回目となる胸腔鏡手術講習会を開催しました。折しも関東地方には大雪警報が発令中で、受講者は一部を除き定刻に石岡駅に到着したものの、山梨から参加予定の看護師は中央線が不通のため途中で参加を断念、昭和大学から参加の看護師、聖マリアンナ医科大学から参加の講師・受講者もダイヤの乱れにより到着が大幅に遅れることになりました。

門倉教授の用意周到な準備により、1日目の講義、2日目の実技実習は大きなトラブルもなく無事終了し修了書を授与しましたが、その後が大変でした。常磐線は雪と大雨のため寸断されており、特急はいつ来るかわからないとのことであり、とりあえず普通列車に乗車しましたが、各駅停車のため普段は目にしないような駅名が次々と過ぎて行きました。

加えて、山梨大学から参加の受講者、松原先生は中央線が不通のため甲府に戻ることができず、月曜日まで都内に宿泊をされたと聞いており、参加者にとっては忘れることの出来ない講習会になったと思います。準備に当たった昭和大学門倉教授、研修センターの本阿弥さん・遠藤さん、ご指導いただいた松原・佐治両先生、大雪の中、石岡までお越しいただいた参加者の方々にお礼申し上げます。



過去3回はこのような天候に遭遇していませんでしたが、今回の経験を踏まえ、降雪の心配のない秋口に開催することも検討したいと考えています。

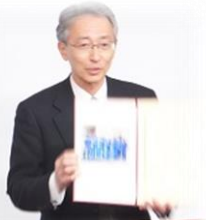
参加者の感想



大雪というアクシデントに見舞われましたが、胸腔鏡セミナー自体は非常に有意義なものであり、大変勉強になりました。特に今後研修医の先生が、少しでも胸部外科を目指すきっかけになればとセミナーの継続を願うばかりです。今後ともよろしくお願い致します。

山梨大学 第2外科 大貫雄一郎

講師の先生方



昭和・門倉先生



山梨・松原先生



聖マリ・佐治先生

講習会の様子



@追伸

この事業開始当初より中心的な存在としてご活躍いただいた昭和大学の本阿弥さんが、大学内の人事異動により、臨床研修センターを離れることになり、一旦、本事業の担当も外れることが報告されました。しかしながら、今後も関連がある部署への異動でもあり、S-TEC利用については無くてはならない存在でもあるので、新たな部署での業務が落ち着きましたら、またこの事業に協力いただくことをお願いしました。

本阿弥さん、今まで有難うございました。今後も引き続きよろしくお願い申し上げます。



平成25年度第5回コーディネーター会議

3月17日に25年度の第5回目となる連携大学コーディネーター会議を開催しました。25年度の締めくくりとなる今回の会議では、昭和大学の研修施設であるS-T E Cを活用した「胸部内視鏡下手術実技講習会」の実施報告、文部科学省26年度公募事業「課題解決型高度医療人養成プログラム」申請に向けての話し合い等が行われました。

胸部講習会の報告では、2月14日の講習会初日に降り始めた大雪の影響により、会場まで到達出来なかった協力者が数名いたものの、講習会自体は無事に全日程を終了することができた旨、本企画を主催した昭和大学の本阿弥さんより報告がありました。また、山梨大学より、山梨県内医療機関から参加した講師及び受講生は、大雪の影響で山梨への帰路が中々復旧せず、3日ほど東京に滞在することとなってしまったが、「講習会は大変有意義であったため、今後も継続していただきたい」との感想が受講生から寄せられたことを報告させていただきました。

文部科学省26年度公募事業「課題解決型高度医療人養成プログラム」申請については、事業の統括コーディネーターである山梨大学の板倉病院教授より、現在の事業を基盤に、公募内容に沿ったより専門性の高いプログラムの構築を行いたいとの提案がありました。

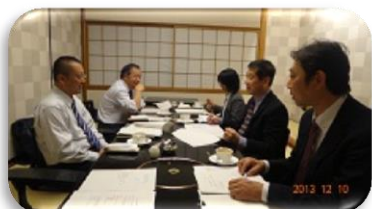
難治性疾患の診断と治療の領域では、現在のプログラムで実施してきた病理診断系のプログラムを進展させ、各大学を繋ぐバーチャル診断の実施を検討したいこと、また、山梨大学と北里大学を中心とした放射線診断及び治療に関するプログラムを検討したいことが提案されました。

高難度手術領域では、先に報告のあった胸部内視鏡手術を始め、血管内視鏡や現在のプログラムで実施してきた腹部内視鏡手術、また、手術ロボット（ダヴィンチ）による手術の実技修練などについて何か1つのプログラムを構築したいとの提案がありました。

次回会議では今回の提案をもとに、各大学で更に付け加えるものが無いかを確認のうえ、大学毎の提案を持ち寄り、より具体的なプログラム作成に向けて動き出すこととしました。併せて、共同申請に向け、各大学病院の執行部の先生方のご意向を確認いただきたい旨、山梨大学よりお願いさせていただきました。

また、現在の事業については継続することとして、26年度には女性医師シンポジウムや、山梨大学が導入したインターベンションシミュレータートレーナーを用いた講習会の開催等、各大学が実施する講習会で連携大学に裾野を広げることが可能な事業を実施していくことで合意しました。

次回は4月14日に26年度の第1回目会議として開催することといたしました。



第3回目(12/10)



第4回目(1/21)



第5回目(3/17)

平成26年度第1回コーディネーター会議

4月14日、26年度の第1回目となるコーディネーター会議を開催しました。

今回は3月に実施した会議内で継続検討事項となった26年度の新規事業の具体的なプログラムについて、各大学の提案内容の審議を中心に、現在の事業の26年度企画や新年度開始に伴い、各大学担当者名簿の確認などを行いました。

新規事業に関する検討では、総合的な画像診断医の養成プログラムや、国際的な治療実績のある山梨大学の肺がん放射線定位照射治療を基盤とした治療医の養成プログラム、また、これまで連携事業として取り組み、実績のある内視鏡を使用した高難度手術プログラムなどが提案され、これらプログラムの実効性について各大学で再度検討のうえ、今回は申請様式に沿った形にして持ち寄ることとしました。

現在の事業の26年度企画の検討では、4月19日開催の浜松医科大学プライマリケア講習会を皮切りに山梨大学が導入したインターベンションシミュレータートレーニングを用いた講習会の開催、ジョンソンエンドジョンソンさんが須賀川に続き、新たにオープンさせる研修施設を使った腹部内視鏡講習会を開催することとしました。

インターベンション講習会と腹部内視鏡講習会につきましては、具体的な日程が確定次第、HPおよびこのNews！等により、皆様にご案内いたします。

次回会議は5月9日に開催いたします。



編集後記

「FUJIYAMA News! Vol.26」久しぶりの発刊となりました。

新年度が始まり、このFUJIYAMA-NET 5大学の連携事業も7年目を迎えています。

昨年度、5大学合同の講習会は、今回レポートした「胸部内視鏡手術講習会」のみでしたが、上記の記事にもあるように、継続して行われているコーディネーター会議などでは、今年度に行う講習会について幾つか計画を立てています。新たな文部科学省の公募事業の申請についても、各大学の特性を生かしたプログラムが提案され、その中で具体化に向けて進んでいます。

会議では、1つの提案から様々なアイデアが出され、徐々に中身を詰め形にしていく、その過程が楽しみでもあります。その中で、ちょっとした“気づき”や“見えてくる”ものもあって、直接意見を出し合うことの大切さを感じます。

今後も、皆様に「参加して良かった」と思えるような講習会等を企画し、キャリアサポートをしてまいります。引き続き、皆様のご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。

